

東京大学大学院人文社会系研究科

次世代人文社会学育成プログラムによる海外派遣帰国報告 平成 23 年 9 月 6 日
平成 23 年度夏学期個人派遣 文学部歴史文化学科西洋史学専修過程 4 年 中川友喜

研究課題：中世スコットランドにおけるネイションの形成・文化移転・他者認識

派遣先での活動：

(1) 派遣先の基本情報

国名：イギリス（スコットランド） United Kingdom (Scotland)

都市名：エディンバラ Edinburgh

研究機関名：エディンバラ大学 The University of Edinburgh: English Language Teaching Centre

(2) 派遣期間：

出発日 2011 年 8 月 14 日（日本時間）

2011 年 8 月 15 日～2011 年 9 月 2 日 エディンバラ大学にて授業を受ける

2011 年 9 月 3 日～2011 年 9 月 4 日 飛行機の接続の関係上ロンドンに滞在

到着日 2011 年 9 月 5 日（日本時間）

主な研究成果：

(1) 当初の計画の概要

今回の派遣では、専ら英語の語学力を磨くことに焦点を当てた。特にライティングとディスカッション能力を重点的に向上させるサマーコースに参加し、英語でレベルの高い論文を書き、専門的な議論を行うスキルを習得することが目的であった。卒業論文を英語で執筆するのが最終的な目標であり、今回の派遣プログラムを通じて獲得したスキルを卒業論文という形で発表する予定であった。

(2) 実際に達成された成果

当初はライティングとディスカッション能力を重点的に向上させるコースに参加を希望していたものの、初日の試験の結果、ディスカッションを効果的に行うためのスピーキングスキルが若干不足していると判断されたために、第二志望のスピーキングスキルの向上に特化したコースに参加することとなった。同コースでは音素論、リスニング、スピーキングを中心とした授業を受けたほか、ディベート、プレゼンテーション、演劇の演習を通じてスピーキングスキルの向上を図るとともに、効果的にプレゼンテーションを行う方法を学んだ。また、スコットランド英語のクセのあるアクセントに触れる機会が得られたほか、ネイティブ・スピーカーではない人々と英語でコミュニケーションを取ることがほとんどであったため、普段あまり慣れ親しむことのできない非ネイティブ・スピーカーのクセのある

アクセントにも多く触れることができたことは、今後国際学界等で非ネイティブ・スピーカーの英語を聴きとるための訓練にもなった。

(3) 今後の展望

今回の派遣内容は専ら英語の語学力向上を図るものであったが、引き続き語学力を磨き、英語で研究成果を報告できる水準にまで高める必要があると考えている。また今後は 12 世紀から 14 世紀にかけてのスコットランド政治史について、従来のような民族的な歴史観に捉われず、権力の行使という観点から同時代のスコットランドを取り巻く政治状況を考察し、また王国を中心に据えた従来のようなナショナル・ヒストリックな歴史観とは異なる視点から研究を進めていく予定である。